

第2回安曇野市協働のまちづくり推進基本方針等策定・評価委員会 会議概要

1	審議会名	平成27年度第2回安曇野市協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画策定・評価委員会
2	日 時	平成27年10月5日 午前9時30分から午前11時30分まで
3	会 場	本庁舎 3階 「共用会議室305」
4	出席者	中田委員、熊井委員、福島委員、内川委員、太神委員、青柳委員、小河委員、飯沼委員、初谷委員、宮澤委員、花岡委員、宗像委員、遠藤委員
5	市側出席者	宮澤地域づくり課長、高山まちづくり推進担当係長、金子まちづくり推進担当主査、齋藤まちづくり推進担当主事
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 1人
8	会議概要作成年月日	平成27年10月5日
協 議 事 項 等		
<p>会議の概要</p> <p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 審 議</p> <p>(1) 個別協働事業（協働計画以外）について</p> <p>①光城山1000人SAKURAプロジェクト</p> <p>②不用食器リサイクル活動</p> <p>(2) 協働計画に基づく個別事業の進捗状況について</p> <p>①市民協働事業提案制度に基づく事業（平成27年度実施分）…P1-P5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安曇野市芸能フェスティバル…P6-P9</li> <li>・安曇野市子ども文化祭…P10-P12</li> <li>・ふるさと再発見 リレーウォーク…P13-P18</li> <li>・あづみのフィルムアーカイブ事業…P19-P21</li> <li>・さとやま楽校田んぼの教室…P22-P24</li> </ul> <p>②市民活動センター事業…P25-P29</p> <p>③自治基本条例の制定…P30-P46</p> <p>④まちづくり推進会議（仮称）に向けた取り組み…P47-P51</p> <p>⑤安曇野市区長会関連…P52-P53</p> <p>⑥協働のまちづくりフォーラム…P54-P60</p> <p>⑦協働コーディネーター養成講座…P61-P62</p> <p>⑧地域リーダー育成講座…P63-P64</p> <p>⑨協働のまちづくり出前講座P65-P68</p> <p>⑩つながりひろがる地域づくり事業P69-P73</p> <p>(3) 市民協働事業提案制度に基づく平成28年度事業について</p> <p>(4) 平成27年度先進地視察研修の実施について</p> <p>(5) その他</p> <p>4 閉 会</p>		

※会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2週間以内に所定の手続により公開してください。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。

1 開 会（進行：副会長）

2 あいさつ

【会長】 今年は近年みたことのないような大雨。本年度2回目の会議となり、審議事項がたくさんあるがご協力いただきたい。

3 審 議

(1) 個別協働事業（協働計画以外）について

- ①光城山1000人SAKURAプロジェクト
- ②不用食器リサイクル活動

【事務局】 協働計画に掲載されていない、個別協働事業について説明。  
・光城山1000人SAKURAプロジェクトについては、市民主体のプロジェクトとし、樹木医の先生とも協力をしながら、事業を展開している。また、埋蔵文化財等も関係各課等との調整を図っている。

【会長】 不用食器リサイクル活動の経緯として、近隣市町村において、不用食器リサイクル活動が展開されてきた事が挙げられる。平成26年度まで実施していた協働のまちづくりワーキンググループ内で、不用食器リサイクル活動実施についての提案があった。昨年、初めて実施したが、様々な反省点があった。これを受け、本年度は、食器受付時間も短くした。リサイクル活動については、費用対効果の面で考えもの。本年も成功した。400名程度の来場者があった。27.28.29日はもったいない市を開催した。環境フェアに出展。人が足りないのが反省点だった。場所がないのが悩みである。出来上がった。行政も視察に参加している。

【委員】 光城山1000人SAKURAプロジェクトと、不用食器リサイクル活動の2事業について、より多くの市民参加でいうと、多くの市民の方の参画がみてとれる。食器を出す方が多いと、経費が多くかかってしまう。リサイクルの経費を明確に打ち出す必要がある。ただ、無償で回収するのでなく、ある程度回収料金をいただきながら、実施すればよいのではないか。また、1回集中型でなく、何回かに分けて様々な地域から実施してもよいのでは、

【会長】 実行委員会としては活動の財源がなく、役員が原資としてお金を出しながら、活動を行っていた。今年は23,000円の募金が集まった。他の市町村は環境課が中心となり活動している。

【委員】 市民活動という意味で、コーディネーターが参画したと思うが、こうすれば、ああすれば、という調整役が必要。いずれにしても経費を縮減する方法を検討すればよいのではないか。ニーズに合った事業であると思う。市の補助金をうまく活かしていてもよいのではないか。中心になっていく人が自腹を切る体制は無理が出る。ボランティアは基本手弁当でということでもよい。

【委員】 リサイクル活動は「環境保全」というイメージを軸足に据えるべき。行政主導では短絡的でないか。

【事務局】 廃棄物対策課はごみの減量化を目指している課であり、3Rの推進を図る課となっている。昨年の不要食器リサイクル事業実施段階で反省会を実施している。協働事業であるので、今後は課題の共有をするべき。

【委員】 つながりひろがる地域づくり事業補助金等も活用してみてはいかがか。

【委員】 不用食器リサイクル事業は、有料でやっていいのではないか。

(2) 協働計画に基づく個別事業の進捗状況について

【委員】 さとやま楽校はあづみの国営公園をベースに事業を展開している。市民生活部と里山再生ワークショップと、天平の森を学習のベースとしてワークショップを子供たちを巻き込んだ事業実施についてお話をいただいた。地域住民として

【委員】 協働のまちづくりフォーラムでは、休憩時間が終わったら、帰ってしまう方が多かった。

【事務局】 昨年は市区長会主催の「地域を考える研究集会」とあわせ、協働のまちづくりフォーラムを同日開催した。

(3) 市民協働事業提案制度に基づく平成28年度事業について

【事務局】 本制度は本年度事業を募集して、次年度事業を実施するもので、庁内において協働して事業実施したいテーマを募集した。今後委員の中から協働事業を提案して、実践できれば。

【委員】 庁内からの募集件数がゼロはおかしいのではないか。方法論を検討するべき。

【事務局】 市として、実施計画に「協働」して行う事業を記載する部分がある。庁内に徹底させていただく。

【委員】 安曇野市の協働のまちづくり推進にあたっては、先進地の方法についても学ぶべき。

【事務局】 豊科町が先駆けでまちづくり推進室を設置した。協働計画については、様々な意見を反映させた。

【事務局】 少子高齢化や地方分権の進展とともに、温暖化や、松枯れなど環境の変貌がある。

【委員】 大きな問題、テーマを掲げると提案数が少なくなるのでは。大勢の方の対象となる課題では、なかなか意見は出ないのではないか。もっと身近な地域の課題を解決するため、地域課題の洗い出しからはじめてもよい。

【委員】 信州山の日が制定され、全国植樹祭も実施される。松本市議会にも傍聴にいつているが、上高地とリンクさせプロジェクトを実施する動きがある。24年度に松枯れ対策委員会を実施させていただいた。東山地区でもシミュレーションがあるが。

(4) 平成27年度先進地視察研修の実施について

【委員】 限界集落地域をうまく、活性させた。石川県羽咋市はどうか。

【事務局】 視察先のテーマを絞っていただければ、事務局で提案させていただくこともできる。

【委員】 市民活動が活発である埼玉県熊谷市は先進地ではないか。

【委員】 安曇野市で行われている地域の活動と、整合性が取れば、事務局にお任せしていく。

(5) その他

【委員】 女性の副会長は必要でないか。

【事務局】 事務局で検討させていただく。

4 閉 会